

2004年8月10日

## Me ネット証券の米国株式リアルタイムトレード停止に伴う株券移管受け入れについて

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社(代表取締役社長:國重惇史、本社:東京都港区)は、7月2日に発表されたMe ネット証券の米国株式リアルタイムトレード停止に伴い、両社協力のもと、同社からの米国株式株券の移管受け入れを進めることといたします。

このたびのMe ネット証券の米国株式リアルタイムトレード停止にあたり、弊社は米国株を取扱う数少ないオンライン証券会社として、投資家保護の観点に立ち今回の措置を実施いたします。同社のお客様が今後とも安心してお取引いただけるよう安全かつスムーズな株券移管を万全を期して進める所存です。

また、Me ネット証券のお客様が保有している弊社の非取扱銘柄も積極的に追加いたします。新規銘柄として18銘柄を追加し8月11日(水)より売買可能といたします。これにより当社の売買取扱銘柄は合計561銘柄となります。

またその他129銘柄について、8月2日(月)より11月末までの間当社への移管を受け入れます。これらは8月11日(水)より売却のみを可能といたします。

弊社は1999年11月、国内で初めてのサービスとして米国株式リアルタイムトレードを取扱100銘柄からスタートいたしました。それ以来、ITバブル崩壊等がありながらも、取扱銘柄の拡大、撤退したシユワブ東京海上から口座移管受け入れ(2001年12月)、積極的な勉強会の実施など、着実に米国株式投資家の裾野拡大を図ってまいりました。このたびの措置を通じて弊社の米国株式リアルタイムトレードにおけるトップの地位はさらに確たるものになると考えています。